

事業分類		<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input checked="" type="checkbox"/> 必需		公的関与 1		作成日 30年 6月 25日		
事務事業名 塵芥処理経費				シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策		4 快適なまち		課名	環境防災課		
			4-1 環境と共生するまちをつくる		係名	環境資源係		
	施策		4-1-1 循環型社会の形成		シート作成者			
	主要施策		① ごみ収集・処理体制の充実 ② ごみ減量化の啓発と推進 ③ 3R運動の促進		予算費目	会計	一般	
				款		4		
				項		2		
				目	1			
個別計画名								
住民との関わり				特になし				
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）			目的（どういう状態にしたいのか）				
	住民			ごみの適正排出、分別の徹底を行い効率的で衛生的なごみ収集を行う。				
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）								
一般家庭から排出される、可燃ごみ、不燃ごみ、プラスチックごみを委託業者により収集する。粗大ごみについては、各学校校区別に年4回の搬入日を指定し、家具・布団類・金属・小型家電等回収場所の分類に分け搬入を受け付けている。不法投棄については、啓発車両でのパトロールを行いながら、不法投棄されたごみを発見したら回収し処分している。								
事業期間		昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度 ~ 平成 年度（年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
根拠法令・要綱等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
		平成28年度（決算）		平成29年度（決算）		平成30年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B		0		373,647		384,936		
財源内訳	国庫支出金		0		0		0	
	県支出金		0		0		0	
	地方債		0		0		0	
	その他特定財源		0		17,906		26,869	
	一般財源		0		355,741		357,407	
直接事業費（千円）A		0		373,647		384,276		
人件費（千円）B		0		0		660		
内訳	一般職員（人・千円）		0.00 人 0		0.00 人 0		0.10 人 660	
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人 0	
成果指標	成果指標名			単位	29年度		30年度	31年度
					目標	実績	（目標）	（目標）
	①	ごみ収集量		t	4,515	4,590	4,447	4,447
	②	粗大ごみ処理量		t	330	362	330	328
③	不法投棄件数		日	↓	105	↓	↓	
説明		ごみ分別やリサイクル事業の啓発をより一層行い、ごみに対する住民意識の向上を図る。不法投棄件数を把握し、不法投棄の多い場所を中心にパトロールを行うとともに不法投棄防止・ごみのポイ捨て禁止の啓発を行う。						

事業名	塵芥処理経費	シート作成課	環境防災課
-----	--------	--------	-------

一次評価者	環境防災課長	二次評価者	生活部長
-------	--------	-------	------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ごみの分別収集やリサイクルは、今後もより一層きめ細やかに実施していく必要があります。
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	地域住民のごみの分別・リサイクルの意識向上を図ることにより、ごみ減量化が期待できます。
達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ごみの出し方については、概ね適切に排出されています。
効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	委託することにより、人件費の削減・業務の迅速化が図られ、住民サービス向上が期待できます。

本事務事業の実施適切性の説明

ごみ分別やリサイクル事業の啓発をより一層行い、ごみに対する住民意識の向上を図ります。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	2	3	(8) B (5) 8	A
今後の方針	休・廃止	見直し		継続	拡大		
今後の改革・改善目標	平成29年度以降のRDF焼却・発電事業については県が事業主体となって32年度まで継続が決まったのを受けて、33年度以降のごみ処理について桑名市、木曾岬町の1市2町で新ごみ処理施設建設事業を進めています。地域別による拠点回収と個別回収の現状について検討する必要があります。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	2	3	(8) B (5) 8	A
今後の方針	休・廃止	見直し		継続	拡大		
コメント	機会あるごとにごみ総量の減量、分別のPRが必要。今後の財政運営が厳しくなる中、地域別の回収方法についても考える必要があります。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--